

九月六日、午前三時過ぎ

長い長い揺れが続きましたね。びっくりして飛び起きた私も、「これはいつもと違う…」とドキドキしました。東区に住んでいる私は、幸いにも台所のボウルが流しに落ちてきただけで、後に停電になりました。外に出てみると、ご近所さんたちの「大丈夫ですか?」の声に、「大丈夫です」「大丈夫でしたか?」「大丈夫でした!」のオウム返しの声掛け。有難かったです。夜が明けて近所の方が、コンビニもどこも、何も売っていないの事! とりあえずコンビニに自転車を走らせ、途中で違う…と思い、自転車を返してそのままスーパーへ。みんな興奮状態…。駐車場に並んだ人々の数…。

「水は何ケース買えますか?」「バナナも食べたいです」「電池や惣菜も売ってください」、飛び交う声々。「この人数を見て下さい。みなさんに行き渡るように個数を決めて販売いたします」。いつもなら冷静なのに興奮してどうしたの?と、その声を聞いていました。みんな同じだよ!水も欲しいという気持ちも全て。

私はとりあえず電気が止まっただけなので、ガスでご飯を炊いて、ビン詰めのご飯のおかず三品位、卵一パックをコンビニで買いました。卵?と思うでしょうが、全てゆで卵にして、冷凍室の物は溶ける時間がゆるやかだったのでそこに入れました。

まほろばの片づけには行けなかったのですが、次の日は出勤してお客様にお弁当を作って差し上げたいと思いました。お惣菜を用意することでお客様の心が少しでも穏やかになったら良いなあ、と思いました。

地震から三日後…

電気がつきました。その明るさに救われたような気がします。私たちの生活に無くてはならないライフライン。本当に有難さが心に沁みます。落ち着いてテレビをつけた私の目に飛び込んできた映像は、厚真

まほろばだより No.4756 18-144 10/5



まほろばの食材を使った
安心・安全で美味しいお惣菜
好評販売中です!

10月の予定表

2018 10 October						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

毎週 月 木 土 昼 12時 頃より



お惣菜を用意することでお客様の心が少しでも穏やかになったら良いなあ、と思いました。

の人々の姿でした。二人の男性が映っていました。一人はただただ流れる涙を拭いもせず、一点だけを見つめ、もう一人は「父さん…」と何度も何度も。その二人の姿が忘れられません。手を握って最後を看取った訳でも無く、最後に言葉を交わしてさよならした訳でも無く、ただ自然の猛威によって失った家族。誰が悪い訳でも無く誰かを責めたくてもそれさえ出来ない事。本当に辛いと思います。今もこれから先も、彼らに白髪が生える年になっても、心の傷は癒されないかも知れません。大切な人を失った人々も、私たちも、この先を生きていかなければなりません。とても辛くてどんなに苦しくても生きて行く事が、今回亡くなられた方々に対する礼儀だと思います。

亡くなられた方々
心よりご冥福をお祈りいたします。

今回は、お惣菜とはかけ離れたお話にさせて頂きました。